

2018年度

早稲田大学大学院法務研究科

入学者選抜試験 「地域優先枠」 申述課題

志願者氏名：

(自署)

法科大学院制度ができることによって、首都圏以外の地域における法曹人口は数の上では増えたとは言えますが、中小都市にまで及ぶグローバル化による業務の質的な変化に十分に対応しているとは言えない状況にあると当研究科では考えています。さらに、当研究科では地方の法科大学院が次々の撤退を余儀なくされているなかで、とりわけ首都圏以外の地域に所在する大学の法学部で学修し、法曹として地域に貢献したいと希望する学生の受け皿が失われつつあるとも考えています。そこで、当研究科では入学試験に際して、地域をブロック化して一定数の「地域優先枠」を設け、この枠で入学する学生には、「稲門法曹奨学金」を支給し、学修の財政的な側面のサポートを行います。これにより、地域で法律学を地道に学んだ学生を法学既修者として積極的に受け入れることを可能にしたいと考えています。

そこで、「地域優先枠」で出願される方は、次の課題について、答えてください。

課 題

あなたが法曹として地域に貢献したいと考える理由について教えてください。

(記述欄)

〈作成上の注意事項〉

- ・日本語、横書きで、指定用紙の枠内に作成してください。**1ページ以内**に収め、裏面使用は認めません。
- ・上記課題の字数に制限(上限, 下限)はありません。
- ・手書き、PCは問いませんので、PC使用の際は文字の大きさを**10.5ポイント以上**とし、指定用紙に直接印字してください。別紙に印字したものを貼付してはいけません。
- ・指定用紙への印字に失敗した場合は、早稲田大学大学院法務研究科のWebサイトに同用紙のpdfファイルが掲載されていますので、そちらを印刷し、改めて印字のうえ提出することが可能です。
- ・この課題についての問い合わせには応じません。